

第 34 回広大マスタース例会報告

「仙石庭園」庭石博物館見学会

広島大学マスタース会員 上 真一

2026年4月25日、東広島市高屋町にある「仙石庭園」庭石博物館見学会を、第34回広大マスタース例会として実施した。幸い当日は晴天に恵まれ、多様な銘石・奇石・巨石について解説してもらいながら、新緑鮮やかな園内を1時間半余り散策し、神石殿内の食事処「石庭」にて松花堂御膳を頂き、展示室の各種鉱物を観察し、午後2時頃三三五々解散した。参加者は16名（公益財団法人仙石庭園理事兼学芸員、かつマスタース会員である沖村雄二先生を加えると17名）であった。

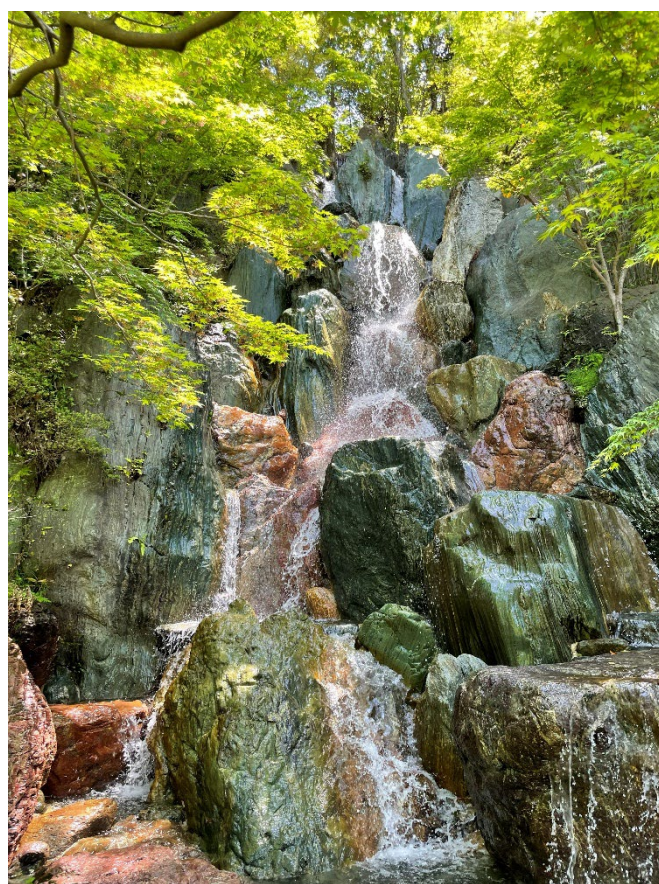


仙石庭園はどんな庭園か？当日もらったパンフレットに、「東広島市在住の奇特定の医師（山名征三、1938年生）が2000年頃より私財を投じ全国から庭石を集め、20余年の間、唯我独尊の世界をさまよい日本庭園史に新しい1ページを加える唯一無二の銘石日本庭園を創生した。2020年文化庁より我国初の庭石の登録博物館認証。2022年公益財団法人化、我国の文化遺産として未来永劫の命脈を保つ礎を作った。」とある。広さ4haの広大な和式庭園で、老木や花木を含む種々の樹木、苔庭、富士山を模した築山、鯉が泳ぐ池、岩肌を勢いよく落下する滝などが配置されている。パンフレットにわざわざ「地球庭園」と謳っているのは、地球表層や内部での種々の物理・化学・生物的作用を受け、長い時間をかけて移動し、形成された岩石がこの庭園の主役ですよ、との意図が込められている。本年3月には庭石の種類数の多さ（224種類）でギネス世界記録に認定されたことは、まさにこの庭園の特異性が証明された証である。



実は私は石に対する興味はあまりなく、せいぜい旅先の海岸や河原で見つけたきれいな小石や化石を持ち帰る程度であるが、親友の一人に大の石好きがいる。彼は新築なった自宅の庭に巨大な暗緑色の石を据え、間に北山杉を植え、全面に杉苔を貼り付けた。訪ねる度に「どうじゃ、ええ石じゃろう」と自慢するが、彼の言う石の良さが私には今ひとつ理解できていない。この度の見学会では、種類（例えば安山岩・花崗岩など）、成因、産地、場合によっては値段などに関する説明を聞きながら、園内の庭石に直面した。一番驚いたのは色の多様性であった。灰や暗灰などの無彩色が主体だと思っていたが、赤や青緑などの色を呈する庭石が予想以上に多かった。独特な形の庭石もあった。例えば、サンゴ化石由来と思われる直径2mのテーブル状の「エチゼンクラゲ石」は、なるほど巨大なエチゼンクラゲが傘を広げて海中を遊泳する姿に似ていた。イースター島の石像に似た「モアイ石」もあった。解説者（私の組はボランティアガイドリーダーの長尾隆司さん）の熱のこもった語り口に何とか付いて行けたが、私財を投げ打ってでも収集したいと熱望する庭石の魅力については、結局理解できずじまいであった。先述の親友のような庭石趣味の人間には、この庭園は絶大なる魅力を有しているに相違ない。

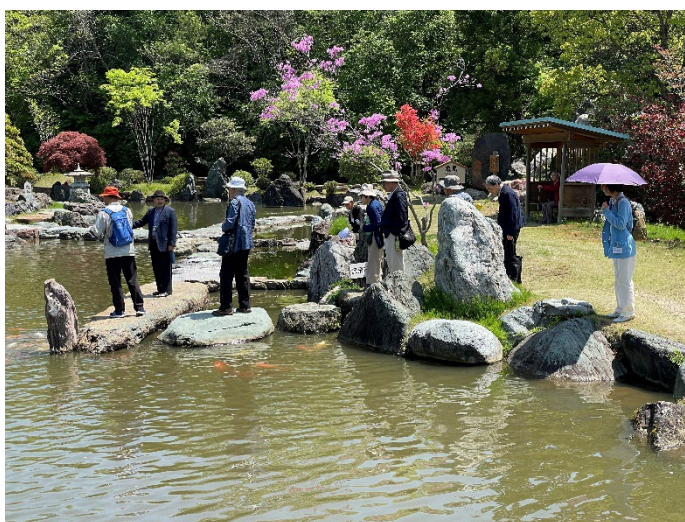
「石の上にも三年」という諺があるが、石好きに近づくためには石と接する頻度と時間を増やし、そして当然のことながら、石の知識が必要であろう。今回、ラピスラズリがそのきっかけになるかも知れないと思った。実はシルクロードの歴史に興味を抱き、昨年から関係する本を読み漁ってきた経緯がある。敦煌莫高窟の壁画の青はアフガニスタン産のラピスラズリで、奈良県高松塚古墳の壁画にもこの青が



使われているらしい。昼食後、神石殿内の展示棚に約 30 cm の錘形の瑠璃色の原石を見つけた。そしたらアフガニスタンから藤原京時代（694 年～710 年）の明日香村までのルートが一気に頭に思い浮かんだ。今後足繁く庭園に通って庭石に対峙し、加えて庭石の地質学的知識を専門家である沖村先生から教授してもらえれば、石に対する興味が増大し、石の良さを享受することができるようになるだろう。



日本式庭園の特徴は、庭石、樹木、築山、池、借景などの配置の妙にあり、その点で仙石庭園は十分満足できる。特にこの季節は新緑の若葉と真紅のキリシマツツジの花を楽しむことができる。秋は各所に植えてあるモミジの紅葉がきれいであろう。また、雨の日は濡れた庭石の色が一層目立つから、晴れの日とは趣が異なるだろう。レストラン「石庭」の食事は美味しく、窓越しに庭の景色を楽しみながら、知人・友人などの会食場所としても相応しい。仙石庭園を訪れたことのない会員には、是非とも機会を見て訪問されることを強く薦めるものである。



最後になってしまったが、当日は庭石に関する解説をしてくださった仙石庭園主である医療法人社団ヤマナ会の山名征三会長、ボランティアガイドリーダーの長尾隆司氏、そして本見学会の打ち合わせなどでお世話になった沖村雄二先生に深く感謝する。

